

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	神奈川県合同輸血療法委員会による貯血式自己血輸血の将来予測
	研究目的	献血者の減少により、将来的な血液製剤不足が懸念され、自己血輸血の重要性が再認識されている。今回、神奈川県内の医療機関で行われている貯血式自己血輸血についてアンケート調査を行い、実態の確認と今後の将来予測を行い、今後、どのように貯血式自己血輸血を促進していくべきかを検討する。
	研究期間	西暦 2018 年 5 月 18 日 ~ 西暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	輸血医療科、輸血検査室
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属市民総合医療センター輸血部 野崎昭人